

KEY
PERSON

仁

・義・礼・智・忠・信・孝・悌



山本 淳子

(株) 樂しみ 代表取締役

学生のころからアルバイトをして実務経験を積み、社会人となってからも23歳で起業するなど、明朗快活な人柄と潜在能力の高さで社会を渡り歩いてきた山本社長。「何でもできる、不自由なく一人で生きていける——かつての私はそんな風に思っていました」と社長は当時を回顧する。しかし、二十代中盤で大きな挫折を味わい、それが転機となって人に尽くす介護の道へと進むことに。「負けることを知って人の痛みを理解し、周囲の支えのお陰で背伸びしなくてもいいんだと思えるようになりました」。苦い経験を糧とし、再び前を向いて走り始めた社長。あれから十数年、社長は周囲を明るく照らすかの如く、一段と強い輝きを放っている。

(対談記事は80～81頁に掲載)

「自分の幸せを考えるのではなく、人に幸せを届けられる人間でありたい」

「笑顔と楽しさを提供する介護事業を目指して」



対談.. 代表取締役 山本 淳子 × ダンカン (タレント)

母親の一言をきっかけに 介護という新たな道を見出す

ダンカン 早速ですが、山本社長の歩みからお聞かせ下さい。

山本 大阪で生まれ育ち、学業修了後は鉄工関係の会社で業務部に在籍し事務職などを務めていました。その後、社会人としてもっと他の業種も見て多様な価値観を養いたいとの想いが高じ、会社を辞して人材派遣業に携わりました。日々仕事に精励する中で人材派遣業のノウハウを習得し、そちらの社長からの後押しをいただいて、個人事業として人材派遣業を行うようになったのです。

ダンカン お若くして事業を始められたのですね。

山本 それがちょうど23歳の時でした。ただ、自分1人が食べていくぐらいは稼げましたが、やはり人を雇うとお給料を払わなければなりません。景況は好転せず、事業の将来性も不透明でしたので、立ち上げから1年半ほどでやめることにしました。そのことと前後して、24歳ぐらいの時に色々な人生の転機があって今で言うところの引きこもりとなり、半年間ぐらい塞ぎ込んでいたのです。それまでの人生で両親は何も言わずに自由にさせてくれていましたが、さすがに親と言いますか、その時は私の様子がおかしいことに気付いて実家に呼び戻されましたね。

ダンカン そうした状態から立ち直るきっかけは何だったのでしょうか。

山本 ちょうど介護保険が改正されて介護事業が民営化になるということで、ヘルパーの講習が始まったんですね。その案内を母が持ってきて、「人生をやり直すならこういう道もある。お金は出してあげるから行ってみたら」と言ってくれ

■ 2002年の設立から、今年で10周年を迎えた『楽しみ』。居宅介護支援事業と訪問介護事業を主体に介護に関わる様々なサービスを展開している。2012年4月には株式組織に変更し、新たな一步を踏みだしたばかりだ。そんな同社を、本日はタレントのダンカン氏が訪問。山本社長にインタビューを行った。

Junko Yamamoto

地元の高校を卒業後、鉄工関係の会社に就職。退職してから、23歳で個人事業として人材派遣会社を創業する。その後、一転して介護事業に目を向けて資格を取得。現場で経験を積んで2001年に独立し、翌年に法人改組を遂げる。

社長理念

——人間重視・現場重視『世界一、心の豊かな人間が集まる会社』を目指す。同じ気持ちで、目標を目指せばピンチはチャンスになり、何が起きても大丈夫な会社となる。できそうだと思う人を指名して、育てていく必要がある。人は困難な仕事に取り組んでこそ、それにふさわしい力量を身につけ、心の豊かな人間となる。そこを乗り越えれば、楽しみとなる。

たんです。

ダンカン それが今につながっているのですね。

山本 ええ。出口が見えなくて苦しい時期でしたが、母の言葉をきっかけにヘルパーの学校に行くようになりました。その中には私と同じように挫折を経験した人がたくさんいて、新しい職を求めて勉強を始めていたんですね。そういう仲間に出会って初めて、私も駄目な自分をさらけ出すことができましたし、大きな挫折を味わって弱い人の気持ちが分かるようになりました。

ダンカン 資格を取得されてからは、どちらかで現場経験を積まれて？

山本 はい。病院に併設されているデイケアに就職し、そちらで様々な経験をさせてもらいました。民営化になったばかりだったこともあって、ケアマネジャー業務も横で見ることができ幸運でしたね。そちらでは1年ほど勤め、その時の経験が今の私の礎となっています。介護事業で必要な技術・知識・ノウハウを教えていただき、私にとってとても実りのある時間でした。その時の経験がなければ今の私はないと思いますから、本当に感謝しています。

介護事業を通して

人と社会に役立つ企業を目指す

ダンカン 独立を決意されたのには、何かきっかけがあったのでしょうか。

山本 高齢の祖母に介護が必要になったことと、父親が透析をしていたので、その送り迎えもしなければならず、勤めではその対応が難しくなってきましたね。そのため、自分で事業所を立ち上げることを決めたのです。創業当初は個人で運営し、2002年に有限会社になり、そして



今年4月に株式改組を果たしました。
 ダンカン 介護の中でも、どのような業務を手掛けていらっしゃるのですか。
 山本 居宅介護支援と訪問介護をメインに、福祉用具のレンタルと販売、楽しみの創造・企画事業の他、介護保険適用外のサービスも提供しています。

ダンカン 『楽しみ』という社名がストレートで良いですね。
 山本 ありがとうございます。事業を始める前にあれこれと生きる目的を考えていたことがありまして、その時に辿り着いたのが「楽しみ」という言葉だったのです。楽しみを生み出し、自らも楽しみを忘れず、そして人に楽しみ届ける——そんな想いを社名に込めました。

ダンカン 改めて素敵な言葉だと感じます。当初は何名からスタートされたのでしょうか。

山本 最初は私たちスタッフ3名、利用者様も3名というところから24時間体制でスタートし、軌道に乗るに従って少しずつ人を増やしてきました。現在は社員が25名前、非常勤の職員が40名で運営しています。

ダンカン では、スタッフの皆さんへの思いをお聞かせ下さい。

山本 スタッフは私にとって本当の家族同然。それぐらい大切な存在です。昨年、自分の人生を本気で見つめ直したいと思い、皆にわがままを言ってオーストラリアとパリに留学させてもらったんですね。その時も皆快く送り出してくれまし

て、改めて私たちは代え難い絆で結ばれているのだと実感しました。肩書きに関係なく、誰もが信頼し合っており、事業所はいつも和やかな雰囲気になっていきます。そして一方では、一人ひとりがプロとしての技

術、知識、責任感、誇りを持って仕事に臨んでくれています。留学の後、そうした当社のチームとしての結束力と高いプロ意識を再認識し、新たな事業展開を推進する決意を固めました。

ダンカン 素晴らしいスタッフの皆様と巡り会えたのは、社長の人徳に依るところも大きいのでしょう。今年は10周年を迎えられ、また心機一転のスタートですね。今後はどのような展望を？

山本 設立から10年経った今、一番思うのは自分の幸せよりも、人の役に立つ人間になりたいということ。今後は利用者様とご家族、スタッフが安心して暮らせるようにと願いつつ、広く社会に貢献できる企業を目指したいと思っています。そして、その中で1人でも多くの人を笑顔にし、社名通り高齢者の皆さんに日々の楽しみ、生きる楽しみを提供し続けていきたいですね。

(2012年4月取材)

介護の現場から「楽しみ」を届ける

▼介護業界に飛び込み、ヘルパーの資格を取得後は現場で経験を積んできたという山本社長。固定観念にとらわれることなく、先輩のアドバイスや利用者の声に耳を傾け、丹念にノウハウを蓄積してきた。その中で高齢者の多くが日々の楽しみを持っていないことに疑問を感じ、実際に生活のサポートを行う介護だけではなく、「楽しみ」を提供できる企業をつくりたいと誓い、事業を立ち上げたのだという。

▼当初は3名からスタートした事業だが現在は非常勤の職員も含めて60名以上。これだけの規模になった今も、社長がこだわるのは現場だ。「私はいつもエプロンを付けて現場に出ているので、創業からしばらくは私が社長だと気付かない人も多かったんですよ」と笑う。今は以前より現場に出る機会は少なくなったものの、やはり叩き上げ。社長室にはいつでも現場に出られるようにエプロンが用意されている。

QUEST COMMENT

ダンカン (タレント)

学生時代からアルバイトをし、その中で生きていく術を身に付けてきたという山本社長。これまでに失敗や挫折も経験されたそうですが、その中で見事に立ち直ってこられました。モットーとされている「一生懸命」という言葉が、社長の明朗快活なお人柄にぴったりだと感じます。



INFORMATION

株式会社 楽しみ

楽しみケアプラン 楽しみヘルパーステーション

【住吉事業所】大阪府大阪市住吉区我孫子 4-6-21-101

TEL 06-6692-2787 FAX 06-6692-2707

【住之江事業所】大阪府大阪市住之江区浜口西 3-2-16

TEL 06-4701-5574 FAX 06-4701-5575

URL : <http://www.tanosimi.jp>



TANOSHIMI CO., LTD.

① 経営理念——希望・誠実・愛情・幸運

希望をもち誠実に愛情を注げば、三つ葉から幸運を運ぶ四つ葉となる。全ての人たちに幸運が訪れることを願い理念のもとに楽しみを提供いたします。

② 使命 ミッション——楽しみの創造

「楽しみ」は自分で見つけるものです。しかし、一人で探すより、多くのアイデアを集める事で、より良い「楽しみ」を見つけられるのではないのでしょうか。「楽しみ」は心のもったサービス提供、幸せの追求、人と人とのつながりを大切にプロとしての自信・責任・誇りを持って常に向上し愛される企業となる。

③ ビジョン——高齢者の笑顔・生活革命

「楽しみ」として何を成したいのか？ それは、日本を支えてきた人達。そんな人達の人生最後のステージでは、幸せで豊かな生活を送って欲しい、楽しみを見つけて欲しい、感じて欲しい。これに尽きます。これから迎える超高齢化社会に向け、豊かな社会発展を支えて行く企業として成長し高齢者の笑顔・生活革命をビジョンとする。